

「関西MOTプロジェクト」商品概要① (1/2)

- 【発売日】 2008年12月9日(火)
- 【発売地域】 大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県のサークルKとサンクス883店(2008年10月末現在)
※兵庫県と和歌山県は一部地域を除きます
- 【商品数】 大阪の食材を使用したオリジナル商品5品目と和歌山の食材を使用したオリジナル商品1品目
- 【商品説明】 下記参照

◆ 大阪うまいねん弁当 555円(税込)

2週間の期間限定発売

・大阪産の食材にこだわったお弁当です。大阪府が「大阪産(おおさかもん)」としてブランド化を目指している「なにわの伝統野菜」の認証を取得した大阪府河南町産の「田辺大根」の煮物や、泉州産たまねぎのかき揚げ、泉州産キャベツと泉州産たまねぎを使用した焼きうどんなどが入っています。ごはんは、大阪府能勢町産の「キヌヒカリ」を使用しています。

そのほか、加工品の食材として、大阪府吹田市にある千日総本社のだし巻きたまごや、別添で、大阪府堺市にある醤油醸造メーカー大醬の天つゆも付いています。また、コンビニエンスストアとしては、初めて、大阪府の「なにわの伝統野菜」の認証を受け、認証マークを商品に表示するほか、あわせて「大阪産(おおさかもん)」をPRするマークも同時に商品に表示します。



※「大阪産(おおさかもん)」とは

・「おおさか食べ歩き推進協議会」が、大阪産品のイメージアップと消費拡大などを目的に、大阪産品を一体的にPRしているブランドのネーミング。大阪で生産される野菜や果物、大阪湾で水揚げされる魚、大阪で作られる特産の加工食品などを広く対象としており、泉州たまねぎなどの「なにわ特産品」、田辺大根などの「なにわの伝統野菜」や「大阪府Eマーク食品」などの認定されたものを積極的PRの対象としています。



「大阪産(おおさんもん)」のシンボルマーク

※「なにわの伝統野菜」とは

・大阪は江戸時代から「天下の台所」と呼ばれたように、古くから食文化が栄え、その食文化を支える大阪独自の野菜が多数ありました。しかし、戦後、農産物の生産性を上げる為の品種改良や農地の宅地化、食生活の洋風化が進み、地域独自の歴史や伝統を有する品種が次々に店頭から消えていきました。近年、こうした伝統ある野菜を見直そうという機運が高まり、昔ながらの野菜を再び味わってもらえるよう、大阪府では関係機関と協力して「なにわの伝統野菜」の発掘と復活に取り組んできました。

※「なにわの伝統野菜認証制度」について

・大阪府では、平成17年10月から「なにわの伝統野菜認証制度」をスタートしました。当認証制度では、出荷する野菜が「なにわの伝統野菜」であること、販売する食品、調理品が「なにわの伝統野菜」を原料としていることをPRするために認証マークを表示することができます。農業者が生産した伝統野菜に認証マークを表示して出荷できる他、加工食品の製造者や小売店、料理店、青果販売店も商品や店頭等に表示することができます。



「なにわの伝統野菜」認証マーク

「関西MOTプロジェクト」商品概要② (2/2)

- ◆ **ねぎ入りお好み焼 (大阪産ねぎ使用)** 450円(税込) 3週間の期間限定販売
 ・大阪産のねぎをたっぷり入れた、香り豊かなねぎ入りお好み焼きです。
- ◆ **大阪産水菜のハリハリサラダ** 198円(税込) 3週間の期間限定販売
 ・大阪産水菜をたっぷり食べられるサラダです。水菜のシャキシャキとした食感が味わえます。
- ◆ **大阪泉州産たまねぎ使用ホットドッグ (カレー味)** 147円(税込) 3週間の期間限定販売
 ・泉州産たまねぎをカレー味に炒め、たまねぎの食感を生かしたホットドッグです。
- ◆ **大阪泉州産ミニトマト使用ミニトマトジャムパン (ピザ風味)** 126円(税込) 4週間の期間限定販売
 ・主に泉佐野市で採れるミニトマトからジャムを作り、ピザパン風味に仕上げました。
- ◆ **ぼっかけ風牛すじまん** 140円(税込) 数量限定販売
 ・醤油タレは関西で有名な和歌山の「湯浅醤油」をベースに、牛すじを甘辛く煮込んだ関西ならではの味「ぼっかけ」を再現しました。アクセントに京都風七味を入れて、風味良く仕上げてあります。



◆ねぎ入りお好み焼 (大阪産ねぎ使用)



◆大阪産水菜のハリハリサラダ



◆大阪泉州産たまねぎ使用ホットドッグ (カレー味)



◆大阪泉州産ミニトマト使用ミニトマトジャムパン (ピザ風味)



◆ぼっかけ風牛すじまん

☆MOTプロジェクトとは

JIMOTO (じもと・地元) / MOTTO! (もっと) / MOTTAINAI (もったいない) から名付けられたサークルKサンクスの地産地消企画。「もったいない」の思いとともに、各地で「地場作物の消費量UPへの働き掛け」等の活動を通じて、「地産地消」を推進しています。北陸、四国、北海道など、全国7地域で展開しており、「関西MOTプロジェクト」は8番目の展開となります。

「関西MOTプロジェクト」では、今後、大阪府含む2府4県の食材を使用したオリジナル商品を順次発売していく予定です。また、プロジェクトのコンセプトにあった市販商品も、「関西MOT認定商品」として、「関西MOTプロジェクト」のロゴマークをつけて、販売していく予定です。